

令和5年度「食中毒予防啓発に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

今回のアンケートの結果を参考に、今後も食品衛生に関する知識の普及啓発を行っていきます。

また、今後の横浜市食品衛生監視指導計画を作成する際の参考資料として活用します。

2 アンケートを実施した感想

食中毒予防啓発として、令和5年度は、8月を中心に横浜駅みなみ通路や映画館のCM等、市内各所でカンピロバクター食中毒に関する啓発動画「生の鶏肉 カンピロバクター食中毒に要注意！」（参考）<https://www.youtube.com/watch?v=8xGZ-SwJGK4>）を放映し、多くの市民の方に認知されること期待しましたが、Q5で「見たことがある」と回答した方は4.7%と少なく、短時間で多くの方に周知するのは難しいと感じました。

なお、Q3では「Q1の動画を見て、生や完全には火を通さない鶏肉料理の危険性について理解できましたか」の質問に対して、「ア 理解できた」（67.2%）、「イ まあまあ理解できた」（29.4%）を選択回答された方が合わせて9割以上だったことから、動画による啓発手法は一定の効果があると考えます。今後も市民の皆さまの印象に残り、食中毒予防のための行動に繋げていただくために、より効果的な食中毒予防情報の発信方法を検討していきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

食中毒予防啓発に関するさまざまなご意見をいただき、大変参考になりました。

市民の皆様の食の安全・安心を確保するため、今後も食品衛生業務に努めていきます。

担当：医療局食品衛生課

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。